

令和2年度

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金活用事業 【評価】

舟形町・舟形町まちづくり審議会

## 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業【評価】

No.1

事業名	舟形町公共施設等感染予防対策事業	
概要	<p>①感染予防に必要な物資等の確保や公共施設等の消毒作業を実施し、感染拡大防止対策を図る。</p> <p>②消耗品費(消毒剤、マスク、アクリルボード、非接触化型体温計等)</p> <p>③消毒剤@29,600×10箱、不織布マスク@60×32,000枚、アクリルボード@13,150×12基、非接触型体温計@12,000×7本、斎場消毒作業@110,000×5回</p> <p>④-</p>	
実績	2,639,271円	<p>設置場所…役場、中央公民館、小中学校、保育所、生涯学習センター、長沢・富長交流センター、農村環境改善センター</p> <p>防護服、アクリルパーテーション、フェイスシールド、マスク、非接触型体温計、使い捨て手袋、手指消毒剤 等</p>
行政評価	感染を防ぐため、予防対策用品を導入したことにより、感染予防対策が図られている。	
審議会評価	新型コロナウイルス感染症の感染予防に必要な整備であり、早期に対応したことで、町民の安全安心な暮らしにつながっており、評価できる。また、町民の感染予防に対する意識の向上にもつながっている。	

No.2

事業名	舟形町緊急経済対策事業	
概要	<p>①ア・イ) 感染症による休業等で減収となった商工業者を支援する目的で、プレミアム付き商品券を発行し地域経済の活性化を図る。</p> <p>ウ) 国の持続化給付金及び山形県の経営改善支援金に該当しない事業者を対象とし支援金を交付する。</p> <p>②ア・イ) プレミアム付き商品券、委託事務費 ウ) 支援金</p> <p>③プレミアム商品券プレミアム分30%3,000円×5,000冊、事務費委託料500,000円、支援金@100,000×50事業者、事業者限定プレミアム商品券プレミアム分30%と印刷製本費上限300,000円×25事業者</p> <p>④ア・イ) 町・小売等事業者 ウ) 町 ※区分ア～ウは別添ポンチ図とリンク</p>	
実績	23,028,849円	<p>①1冊13,000円分のプレミアム商品券を販売し、5,000冊が完売。</p> <p>【実績額】 13,000円×5,000冊=65,000,000円</p> <p>②町緊急経営支援事業支援金として、県や国の事業に該当しない町内小規模事業所(事業収入前年同月比30~50%未満減少) 9事業所に対し、一律100,000円を支給。【実績額】 900,000円</p> <p>③自ら発行する商品券のプレミアム分(30%)を町が補助するガンバルめがみちゃん応援キャンペーン事業では23事業所が取り組んだ。【実績額】 6,500円×4,090冊=26,585,000円</p>
行政評価	プレミアム商品券事業関係では、地域消費者の町内での購買意欲の向上を図り、それが経営の支援につなげることができた。また、経営改善支援金でも、経営の継続に対する意欲向上に寄与している。	
審議会評価	日ごろ町内のお店で買い物する機会が少ない人も、プレミアム商品券を利用することで利用する機会が増えたと思う。事業者にとってはすごく助かる事業と評価できる。一方、町民目線では、利用する人と利用しない人で恩恵の差が生じているように感じる。	

No.3

事業名	舟形町公共施設等感染予防対策事業	
概要	<p>①感染予防に必要な物資等を確保し、公共施設や避難所における感染拡大防止対策を図る。</p> <p>②消耗品費、備品購入費</p> <p>③防護服@3,278×120、手指消毒剤@11,235×51、マスク@66×17,100、使い切り手袋284,000円、ハンドソープ@425×470、ペーパータオル@165×1,200個、折り畳みリクライニングベッド@32,800×25基、シーツ@2,200×50、体表面温度チェッカー@243,000×14、ハンディ型体表面温度チェッカー@51,000×16</p> <p>④-</p>	
実績	7,925,000円	<p>設置場所…役場、中央公民館、小中学校、保育所、生涯学習センター、長沢・富長交流センター、農村環境改善センター</p> <p>体温検知顔認証カメラ、マスク、使い捨て手袋、ハンドソープ、ペーパータオル、折り畳みリクライニングベッド、シーツ 等</p>
行政評価	感染を防ぐため、公共施設入口に体温検知顔認証カメラを設置したことにより、発熱症状の早期発見と、入場管理の徹底が図られ、感染症の感染防止を図ることができた。	
審議会評価	新型コロナウイルス感染症の感染予防に必要な整備であり、早期に対応したことで、町民の安全安心な暮らしの支えとなっている事業と評価できる。	

No.4

事業名	福祉避難所における安全安心確保事業	
概要	<p>①主に要配慮者が避難する「福祉避難所」において、感染予防に必要な物資等を確保し、感染拡大防止対策を図る。</p> <p>②消耗品費、備品購入費(簡易陰圧テント、折り畳みベッド等)</p> <p>③簡易陰圧テントと空気清浄機@654,500×10、折り畳みベッド@32,780×100基、シーツ@2,200×100、マットレス@30,800×40、マットレス用シーツ@3,850×40、毛布@2,860×200</p> <p>④-</p>	
実績	11,826,265円	簡易陰圧テント、折り畳み式ベッド、災害用マットレス、災害用毛布、自走式アルミ車いす、空気清浄機、ドラム式洗濯乾燥機 等
行政評価	陰圧テントを整備したことで、災害発生時に発熱等の症状がある方が避難してきた際の安全な避難場所を確保することができるようになった。また、折り畳みベッド等を整備したことで、要介護者等が避難してきた際に、受け入れる体制づくりを構築することができた。	
審議会評価	災害などの緊急時に備え、しっかりと感染予防された避難所を開設できるよう準備したことで、町民の安心安全な暮らしにつながる事業として評価できる。	

No.5

事業名	がんばれ舟形特産品応援事業	
概要	<p>①感染症拡大防止を図るため、中止とした「ふながた若鮎まつり」で、本来は販売される予定であった町内産の鮎を町が買い上げ、町内事業者の協力により調理し、宅配やドライブスルー方式などで一般の方に販売する。町最大の特産品を町内外にアピールするとともに、地元産品の良さを町民が再確認する機会を創出し、地域活性化につなげる</p> <p>②原材料費(鮎)、委託費、備品購入費(鮎焼器)</p> <p>③委託料19,091,000円、原材料費(福祉鮎用)@200×1,000尾、備品購入費9,300,000円</p> <p>④住民、漁業組合、事業者</p>	
実績	14,451,786円	<p>①焼き鮎ドライブスルー販売など18,630尾を販売(10,370尾は振興公社が買取)</p> <p>②町内6福祉施設へ鮎寄贈(1,476尾)</p> <p>③小型高温高圧調理機1台購入</p> <p>④鮎焼き器5台購入</p>
行政評価	<p>中止となった「ふながた若鮎まつり」で販売予定であった30,000尾の鮎を、ドライブスルー方式及び配達等の手段で販売することにより、感染症拡大防止を図るとともに、町最大の特産品である鮎を町内外にPRすることができた。</p> <p>また、小型高温高圧調理器を導入することにより、コロナ禍において在庫となる見込みであった鮎について、常温で長期保存することが可能となったとともに、新商品として新しい販路を開拓することができた。</p>	
審議会 評価	<p>舟形町特産の鮎をドライブスルー方式で販売することで、町のPRにもつながり、新型コロナウイルス感染症終息後の若鮎まつり開催に向けた取組としても評価できる。また、福祉施設への鮎を寄贈することで、たくさんの方から舟形の秋の味覚を味わってもらえてよかったと思う。この事業で購入した機材の有効活用を期待する。</p>	

No.6

事業名	舟形町自宅でフレイル予防応援事業	
概要	<p>①高齢者においては、運動や他者との交流の機会が減少しフレイル状態に陥る恐れがあるため、通いの場等への参加により付与している健康ポイントを自宅等で個人で取り組んだ場合にも拡充することで取り組む意欲の醸成を図り、フレイル予防につなげる。</p> <p>②健康ポイント付与</p> <p>③1日1P(※1P=50円)週2回実施。5月～3月…45週。50円×45週×2回×280人</p> <p>④住民</p>	
実績	154,000円	<p>利用者 37人</p> <p>①健康ポイント事業の対象に自宅での体操等を追加</p> <p>②自宅でできる体操を全戸配布により情報提供</p>
行政評価	<p>通いの場以外で体操に取り組む住民が増加し、密を避けるとともにフレイル予防につながった。</p>	
審議会 評価	<p>コロナ禍により、地区の集会所へ集まり百歳体操など運動の機会や交流の機会がなくなっていたので、家で行なった体操も町の健康ポイントの対象としたことは、高齢者の多い舟形町にとってよい事業であり評価できる。参加者を増やす取り組みがあるともっと効果があると感じる。</p>	

No.7

事業名	公共施設等の管理維持体制応援事業	
概要	<p>①閉館・休館が実施された公共施設等のうち、指定管理者制度を導入している施設について、再開後の円滑な管理を行う観点から、指定管理者が実施する点検管理や環境整備について支援し、利用者の安全安心かつ快適な環境の確保を図る。</p> <p>②消耗品費(消毒剤等)、補助費等(支援金)</p> <p>③1)若あゆ温泉…公衆衛生確保奨励金1,470,000円、環境整備支援金1,660,000円、2)体験実習館…環境整備支援金800,000円、3)観光物産センター…環境整備支援金700,000円</p> <p>④指定管理者</p>	
実績	2,770,000円	<p>対象施設・・・ふながた若あゆ温泉、猿羽根山農林漁業体験実習館、観光物産センター</p> <p>①環境整備支援金 2,464,000円 休業期間中の施設再開に伴う環境整備作業、飛沫感染防止作業、接触を減らすための経費</p> <p>②公衆衛生確保奨励金 306,000円 オゾン脱臭機や除菌用アルコール、非接触型体温計等購入</p>
行政評価	施設休館中期間中に施設再開に向けた環境整備等を行うとともに、感染症拡大防止対策を施したことにより、利用者の安全安心かつ快適な環境を確保することができた。	
審議会評価	新型コロナウイルス感染症が蔓延し、緊急事態宣言により温泉等の施設が閉館・休館することになったが、休館中に施設管理者が行った施設整備を支援することで、再開後の施設利用者の安全安心の確保に寄与したと評価できる。	

No.8

事業名	舟形町農畜水産物生産継続支援事業	
概要	<p>①農畜水産物の市場等の価格低迷により、販売額が下落した生産者に対し支援することで、生産継続の意欲回復を図る。</p> <p>②消耗品費(花卉等)、補助費等(資機材購入費補助、家畜・稚魚等購入補助)</p> <p>③1)花き8,000,000円×0.8、2)家畜@400,000×2頭×3戸、3)4,000,000円×1/2、4)@200×30,000尾×1/2</p> <p>④農家</p>	
実績	2,471,000円	<p>①家畜等 繁殖用子牛3頭導入(3件)</p> <p>②園芸作物 促成タラの芽栽培に係る資材及び機械等(1件)</p> <p>③水産物 鮎種苗及び鮎採捕施設用備品(胴他)(2件)</p>
行政評価	農畜水産物の市場等の価格低迷により、販売額が下落した生産者に対して支援することで、生産継続意欲の醸成を図ることができた。	
審議会評価	町の農家は想像以上に体力がなくなっている。そこに新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、その影響で販売額が落ち込むなど大きなダメージを負ったところにこの事業で支援したことは評価できる。今後の営農継続意欲の醸成につながったと感じる。	

No.9

事業名	舟形町外に居住する町出身学生への食の支援事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とし、舟形町への帰省を自粛している町外居住学生に対して、町内特産品（食品）の提供を行い、学生を支援する。また、本町との関係（結びつき）を確保し、将来的なふるさとへの回帰に繋げるもの。</p> <p>②食糧費、配送料</p> <p>③対象者1学年50人×4学年×1/2（県外学生）=100人、100人×5,000円</p> <p>④町出身学生</p>	
実績	290,000円	件数・・・62件（県外45人、県内17人）
行政評価	町内特産品を提供することで、生活の支援や町との結びつきを確保することができた。お礼状の送付もあり、町への愛着が醸成されたことがうかがえた。将来的には地元への回帰につながることを期待される。	
審議会評価	この事業は、親元を離れ暮らしている学生が、コロナ禍において帰省もできず辛い思いをしているところに、町の特産品を贈ることで、孤独感や閉塞感を和らげ、かつ、ふるさととの結び付きを強くするたいへん良い事業だったと評価できる。	

No.10

事業名	公立学校情報機器整備費補助金	
概要	<p>①学校休校中の家庭学習、リモート授業等を行える環境を目指し、小中学校生に1人1台タブレット貸与を行う。また、通信速度を確保するため学校側及び低所得世帯側のネットワーク環境と関係する周辺機器を整備する。</p> <p>②備品購入費(タブレット、補助費等(家庭通信環境整備支援)</p> <p>③1)周辺機器整備 周辺機器70,000円</p> <p>④町立学校（児童、生徒）</p>	
実績	67,188円	国庫補助事業分が交付金該当 周辺機器分（WEBカメラ、ヘッドセット）67,188円が該当
行政評価	小中学校内のICT環境が整備され、臨時休校等の措置に対応できるリモート授業等を行えるようになった。	
審議会評価	近い未来に整備しなければならなかった情報機器や学校におけるICT環境が整備されたことは評価できる。コロナ禍において、リモート授業を行なえる環境は必要で、今後その環境を有効に活用することを期待する。	

No.12

事業名	学校保健特別対策事業費補助金	
概要	<p>①学校における感染症対策等の支援として、消毒液や非接触型体温計や3密対策、換気に必要なサーキュレータ等の備品を整備する。(学校保健特別対策事業費補助金(4)学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援)</p> <p>②備品購入費、消耗品費</p> <p>③1) サーキュレータ等73台500,000円、2) 接触型体温計等150,000円、3) 電子ホイッスル等150,000円、4) 消毒液等1,200,000円</p> <p>④舟形小学校、舟形中学校(児童・生徒)</p>	
実績	2,068,792円	手指等消毒液、非接触型体温計、サーキュレーター、密回避による学習用品、加湿器、飛沫防止プレート等衛生用品
行政評価	学校内の感染症対策が推進され、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるようになった。	
審議会評価	町の宝である子どもたちが、安全安心な環境で授業に取り組めるように消耗品、備品等を整備したこの事業は大変良かったと評価できる。更なる感染症予防対策に支援を期待する。	

No.13

事業名	舟形町子育て世帯への臨時給付金事業	
概要	<p>①新型コロナウイルス感染症が流行する中、小学校の臨時休業等により影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みとして、児童手当受給世帯等に臨時・特別の一時金として支給するもの。</p> <p>②交付金</p> <p>③1) 子育て世帯670人×10,000円、2) ひとり親世帯70人×20,000円、3) 特別児童扶養世帯10人×20,000円、4) 事務費462,000円</p> <p>④町民(子育て世帯)</p>	
実績	8,364,689円	<p>①0歳～高校3年生</p> <p>②R2.6.30までに母子手帳の交付を受けた妊婦</p> <p>(①+②=対象656人、支給対象世帯637世帯) 加算分として</p> <p>①高校3年生までの子どもがいるひとり親世帯(48世帯)</p> <p>②特別児童扶養手当受給世帯(10世帯)</p>
行政評価	新型コロナウイルス感染症による小学校の臨時休校等の影響を受けた子育て世帯に対し経済的支援をすることができた。	
審議会評価	新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校となり、経済的に影響を受けた子育て世帯に対し現金を給付し支援したことは良い取り組みだったと評価できる。	

No.14

事業名	県連携商工振興事業	
概要	<p>① I) コロナの影響を受けた小規模事業者の新たな取組を県と連携して支援、II) 事業者が取り組む新生活様式の実践に必要な設備導入を支援するため補助金を交付する。</p> <p>② 補助金、消耗品費</p> <p>③ 1) @100,000円（上限）×70事業者、2) @130,000円（上限）×4事業者、3) 消耗品10,000円</p> <p>④ 事業者</p>	
実績	6,625,892円	<p>① ガイドライン型 38事業所 空気清浄機、換気機能付きエアコン、パーテーション等</p> <p>② 小規模事業者支援型 2事業所 換気設備、トイレ洋式化</p>
行政評価	新型コロナウイルス感染症による経営上の影響が著しい中小企業者に対し、新しい生活様式に対応するための補助金を交付したことにより、感染拡大防止に寄与している。	
審議会評価	今後の営業に不安を抱える中で、町内の事業所が安全に営業できるような設備の整備が進んだことは良かった。利用する町民の安全安心にもつながる事業として評価できる。	

No.15

事業名	新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行防止事業	
概要	<p>① 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザには発熱などの共通症状が多いことから、今冬のインフルエンザ流行期の判別に混乱をきたさないようにするため、季節性インフルエンザの予防接種の費用の一部を助成し住民の負担軽減と、季節性インフルエンザの拡大予防を図る。</p> <p>② 委託料、補助金</p> <p>③ 1) 委託料 (3,500円×180人) + (2,000円×1,120人)、2) 補助金2,000円×520人</p> <p>④ 0～64歳の町民</p>	
実績	2,977,804円	15～64歳までの接種費用未助成の方を対象 1,006人が接種
行政評価	これまで接種したことのない人も接種し、現在インフルエンザの流行は見られず、コロナとの同時流行を防止できている。	
審議会評価	インフルエンザの感染者が例年より確実に少なかったことが成果として出ており、効果があったと評価できる。	

No.16

事業名	公共施設等感染予防対策事業	
概要	<p>①避難所での感染予防に必要な物資等の確保や濃厚接触者が避難する場所を想定した物品等を購入し、感染拡大防止対策を図る。</p> <p>②消耗品費、工事請負費、備品購入費</p> <p>③1) 消耗品6,002,000円、2) 工事費270,000円、3) 備品600,000円</p> <p>④中央公民館、舟形小学校、生涯学習センター、農村環境改善センター、富長交流センター、清流荘</p>	
実績	8,908,753円	中央公民館、小学校、生涯学習センター、富長交流センターに、非接触体温計、大型扇風機、折り畳み式ベッド、災害用マットレス 清流荘に、感染防止プライバシーパーテーション、濃厚接触者専用スペース間仕切りビニールカーテン取り付け工事
行政評価	避難所での感染予防に必要な物資等の確保や濃厚接触者が避難する場所を想定した設備及び物品等を購入したことにより、感染拡大防止対策が図られている。	
審議会評価	新型コロナウイルス感染症の感染予防に必要な整備であり、早期に対応したことで、町民の安全安心な暮らしにつながっている。また、町民の感染予防に対する意識の向上にもつながっており、評価できる。	

No.17

事業名	公共施設等衛生設備改修事業	
概要	<p>①新しい生活様式の実践に向けた感染防止の3つの基本にある”手洗い”をより衛生的にするため、蛇口を非接触式のものに交換するとともに、男子用小便器の押しボタンを非接触式に、和式トイレを蓋付き洋式化に変更し感染リスクを回避するとともに衛生的な空間を創造する。</p> <p>②工事請負費、消耗品費</p> <p>③1) 自動水栓縦型@39,160円×153台、2) 自動水栓横型@35,585円×52台、3) 男子トイレ自動水栓@48,180円×45台、4) 洋式化@400,000円×21台、5) 消耗品費等990,000円</p> <p>④役場庁舎、中央公民館、生涯学習センター、舟形小学校、舟形中学校</p>	
実績	18,700,000円	<p>①公共施設等衛生設備改修工事</p> <p>手洗い場の蛇口、男子小便器の自動水栓化工事（生涯学習センター、農村環境改善センター、農林漁業体験実習館、中央公民館、B&amp;G海洋センター、役場本庁舎、保健センター、保育所、小学校、中学校、富長交流センター、斎場、舟形駅）</p> <p>②生涯学習センター、農村環境改善センター和式トイレ洋式化工事</p> <p>③若あゆ温泉コテージ、センターハウス和式トイレ洋式化工事</p>
行政評価	公共施設等の手洗い場の蛇口を非接触式に交換し、より衛生的に手洗いをすることで、感染拡大防止対策が図られている。また、男子用トイレの押しボタンを非接触式に、さらには、和式トイレを蓋付き洋式化に変更したことで感染リスクを回避でき、衛生的な空間の創造が図られている。	
審議会評価	これからの新しい生活様式に対応した事業で、衛生的で安全安心に利用できるために必要なものを整備したと、評価できる。	

No.18

事業名	ワーケーション推進事業	
概要	<p>①若あゆ温泉「あゆっこ村」にあるコテージに、テレワークに必要なICT環境を整備するとともに、町内の観光資源を体験できるワーケーションプログラムを開発及び旅行商品として販売・プロモーションを実施し、県内外からテレワーカー等を誘致し、関係・交流人口の創出と移住者の獲得につなげていく。</p> <p>②委託料、備品購入費</p> <p>③1)委託料27,270,000円、2)備品購入費1,474,000円</p> <p>④自治体</p>	
実績	R3へ繰越	※冬期間の積雪により、屋外での配線作業等を中断せざるを得ないため。
行政評価		
審議会評価	【R3へ繰越】	

No.19

事業名	公共施設Wi-Fi環境整備事業	
概要	<p>①町内の公共施設（役場本庁舎、中央公民館）にWi-Fi環境を整備し、オンラインによる行政手続きの活用促進を図る。また、オンラインでの町民向けの講座や学習塾等の実施や災害時における通信の確保手段にも活用していく。</p> <p>②委託料</p> <p>③委託料2,823,000円</p> <p>④役場本庁舎、中央公民館</p>	
実績	2,750,000円	<p>①役場本庁舎・・・1階ロビー、2階議場、3階大会議室</p> <p>②中央公民館・・・1階図書室、2階会議室、3階大ホールにWi-Fi環境を整備</p>
行政評価	住民手続きやマイナポイント登録等で窓口に来庁した方などが活用するなど、利便性の向上を図ることができた。また、中央公民館図書室もWi-Fiがつながり、受験生など学習での利用もできるようになった。	
審議会評価	公共施設のWiFi環境が整備されたことは、今後の地方創生にもつながる事業と評価できる。今後の町民向けサービスへの展開等、有効な活用を期待したい。	

No.20

事業名	テレワーク環境整備事業	
概要	<p>①役場庁舎において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「新しい生活様式」における働き方の新しいスタイルとして推奨されるテレワーク環境を構築し、在宅勤務や出張先でのテレワークを可能とする。</p> <p>②備品購入費</p> <p>③1)PC15台×200,000円、2)モバイルWi-Fiルーター5台×24,400円</p> <p>④自治体</p>	
実績	2,943,600円	<p>テレワーク用機器導入</p> <p>テレワーク用モバイル端末15台</p> <p>モバイルWi-Fiルーター5台</p>
行政評価	<p>タブレット型PC（サーフェス）を導入し、会議や出張時に持っていくことができるようになった。また、現場の状況を写真や動画を撮り、すぐに伝達することが可能となり、迅速な対応につながった。コロナ禍によりオンライン会議が増え、場所を選ばずに会議に参加することができるようになった。</p>	
審議会評価	<p>出張やオンライン会議、テレワークでの使用は、新型コロナウイルス感染症対策として必要な分野であり、今後の地方創生にもつながる事業だと評価できる。</p>	

No.21

事業名	指定避難所感染症対策事業	
概要	<p>①当該施設は災害時の指定避難所となっており、避難所開設する場合には、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行う必要がある。避難所内の3密の防止と快適な居住環境を整備するもの。</p> <p>②工事請負費</p> <p>③1)断熱遮熱手動カーテン3,784,000円、2)床置き型エアコン3台×2,000,000円、3)壁掛け式エアコン7台（4台×1,300,000円、2台×1,200,000円、1台×500,000円）、4)網戸取付480,000円</p> <p>④生涯学習センター、農村環境改善センター、富長交流センター、中央公民館</p>	
実績	27,520,900円	<p>①農村環境改善センター、富長交流センター内装整備 5,640,800円 暗幕工事、網戸設置工事、畳替え工事</p> <p>②指定避難所空調設備工事 21,880,100円 生涯学習センター 5台 農村環境改善センター 2台 富長交流センター 4台 中央公民館 1台</p>
行政評価	<p>災害発生時に町指定避難所となる施設に、エアコンの設置や遮光カーテンを設置することで避難所内の3密の防止と、熱中症を防止を図ることができ、快適な居住空間を整備することができた。</p>	
審議会評価	<p>災害などの緊急時に備え、しっかりと感染予防された避難所を開設できるよう準備したことで、町民の安心安全な暮らしにつながった事業と評価できる。</p>	

No.22

事業名	特産品販売強化及び観光の魅力発信事業	
概要	<p>①新型コロナによる影響を受けた地域内の特産品及び観光について地域内外にPRするため、ホームページ・動画の作成等を委託する。その動画を更新し、リアルタイムで動画等を発信するため、撮影機器や編集機器を整備するほか、特産品である鮎の加工品販売等について、パッケージのデザインを行い販売促進を図る。また、新型コロナウイルス感染症の収束後の経済活動の復興を図り、強靱な構造を実現するため、米を販売する農家及び農業者が組織する団体、集出荷業者等（以下「農家等」という。）が、衛星を使った稲の生育管理を行うシステムを栽培に用いて作った米について、①付加価値の高い商品づくり、②新たな販路開拓又は流通体制の構築に取り組む農家等に対し、その経費の一部を補助する。</p> <p>②委託料、備品購入費、補助金          ③1)委託料1,500,000円、2)備品購入費500,000円、3)補助金800,000円          ④自治体、観光協会、農家、米の集出荷業者</p>	
実績	2,072,380円	<p>①動画等作成…特産品販売サイト「ふなとく」          四季の動画制作          ②備品購入…ドローン1基、動画編集機材（パソコン1台）          ③特産品等開発支援…衛星を活用したおいしいお米プロジェクトステッカー制作（衛星米ブランド化のためのステッカーで60,000枚）</p>
行政評価	衛星を使った稲の生育管理を行うシステムを栽培に用いて作った米について、商品ラベルを作成することで、付加価値の高い商品づくりを支援することができた。	
審議会評価	<p>コロナ禍の影響もあり、特産品の売上げが減少する中、町を訪れなくても舟形町の特産品の購入できるインターネット販売「ふなとく」の構築は評価できる。新型コロナウイルス感染症終息後には、舟形町に行ってみたいと思ってもらえるような動画となっている。このように町PRの推進に期待する。</p>	

No.23

事業名	農作業受託推進協力金交付事業	
概要	<p>①新型コロナウイルスの感染等によって農作業が実施できない農家の農作業を受託する者に対し、農作業受託推進協力金を交付する。</p> <p>②協力金          ③1)作業対象：稲刈り、乾燥調製、定植、収穫、その他、2)5日未満10,000円/人、5～10日未満20,000円/人、10日以上40,000円/人          ④農家、農業者が組織する団体等</p>	
実績	0円	
行政評価	未実施	
審議会評価	<p>農家の方にとっては、この事業があることで心強く、また、いつ感染するかわからないという不安を抱える中で安心できる事業と評価できる。感染者がなく、未実施ということで良かった。</p>	

No.24

事業名	空中散布機械等導入促進事業	
概要	<p>①防除作業等を行う者同士の接触機会を減少させ、新型コロナウイルスの感染防止と防除作業の効率化を図ることを目的とし、中山間地域の圃場に適した空中散布用機械（防除用ドローン、ホビーヘリ等）の導入を支援します。また、町農業の課題解決に役立つスマート農業の推進を図るため、センシングドローンの導入を支援する。</p> <p>②補助金 ③@800,000円×5台 ④農家、農業者が組織する団体</p>	
実績	531,000円	防除用ドローン1台導入
行政評価	<p>水稲等の防除作業等を行う者同士の接触機会を減少させ、新型コロナウイルスの感染防止と防除作業の効率化を図ることができた。</p>	
審議会 評価	<p>スマート農業の推進としての第一歩として評価できるが、農家数に対して5台（導入実績は1台）は少なく、費用対効果に疑問が残る。</p>	

No.25

事業名	地域経済変動対策資金利子補給事業	
概要	<p>①県・地域経済変動対策資金貸付として県が認めたものに対して、通常1.6%の利子のうち金融機関が0.6%、県が0.5%、市町村が0.5%をそれぞれ負担し、無利子での貸付とする。</p> <p>②補助金 ③融資金額3億円×1%÷12月×8月÷2 ④事業者</p>	
実績	1,087,922円	融資件数 14件
行政評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが急激に減少し、厳しい経営状況の事業者に対して無利子で貸し付けを実施することにより経営の安定に寄与している。</p>	
審議会 評価	<p>該当した事業者にとってはたいへん助かる事業であり、事業者の事業継続に効果があり、評価できる。</p>	

No.26

事業名	セーフティネット等保証料補給事業	
概要	①新型コロナによる影響を受けセーフティネット保証制度を活用した町内事業者の保証料補給を県と連携して行う。 ②補助金 ③活用事業者16社1,000,000円 ④事業者	
実績	470,077円	対象件数 17件（令和3年3月現在）
行政評価	新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが急激に減少し、厳しい経営状況の事業者に対する保証料の補給により経営の安定に寄与している。	
審議会評価	該当した事業者にとってはたいへん助かる事業であり、経営の安定化に寄与したと評価できる。	

No.27

事業名	スクールバス購入事業	
概要	①バスを購入し、通学時及び下校時の乗車人数を分散することで3密を回避する。 ②スクールバス購入費 ③@17,600,000円×1台 ④自治体	
実績	17,001,810円	購入台数 1台（45人乗り）
行政評価	スクールバスを増台し、通学時と下校時の乗車人数を分散することで3密を回避し、安全安心な登下校の体制をとることができた。	
審議会評価	登下校時におけるスクールバス内での感染リスクが軽減され、安全安心が図られた点が評価できる。	

No.28

事業名	指定避難所（舟形小学校）感染症対策事業	
概要	<p>①夏季間の豪雨災害等の避難所運営においては、新型コロナウイルスの感染症対策と同時に熱中症対策も講じる必要がある。また、避難者の3密を回避することも求められることから、指定避難所に指定されている舟形小学校の体育館棟について空調設備の整備やピロティの改修、物資保管場所の確保等を総合的に講じる。</p> <p>②工事請負費、備品購入費</p> <p>③1)床置き型エアコン設置工6台×2,150,000円、2)ピロティ改修工15,734,000円、3)移動式エアコン購入847,000円×2台、4)遮光カーテン1,700,000円</p> <p>④舟形小学校（指定避難所）</p>	
実績	37,853,200円	<p>①避難場所整備（ピロティ改修）</p> <p>②屋内運動場空調設備（6台）</p> <p>③移動式エアコン購入（2台）</p> <p>④屋内運動場遮光カーテン購入</p>
行政評価	災害発生時の町指定避難所となっている舟形小学校体育館に、床置き型エアコンを設置したことで、避難者の快適な居住空間を整備することができた。また、ピロティを改修したことで、悪天候時に避難してきた方々が受付するまでの間、安全な場所で待機することができるようになった。	
審議会評価	災害などの緊急時に備え、感染予防と熱中症対策がされ快適に過ごすことができる避難所を開設できるよう準備したことで、町民の安心安全な暮らしにつながり、評価できる。	

No.29

事業名	舟形小学校換気設備設置事業	
概要	<p>①新型コロナの換気対策として、放課後児童クラブ室、舟形小学校職員室、校長室、音楽室に換気設備を設置する。これらの居室は夜間や長時間の使用が想定されることから、熱交換による省エネ換気が可能な器具を使用する。また音楽室については、部屋の機能上開口部が少ないことから、同様の機器により強制換気を行う。</p> <p>②工事請負費</p> <p>③1)熱交換換気設備@257,000円×6台、@217,000円×1台、2)取付電気工事1,310,000円</p> <p>④舟形小学校</p>	
実績	5,060,000円	<p>熱交換式換気設備</p> <p>職員室 2台 校長室 1台 放課後児童クラブ室 4台 音楽室 2台</p>
行政評価	熱交換型換気設備を整備したことで、教員や放課後児童クラブ利用者の快適な居住空間と新型コロナウイルス感染症等の感染防止を図ることができた。	
審議会評価	職員室等における新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすことで、安心して学校生活を送られるところが評価できる。	

No.30

事業名	縄文の女神ペーパークラフトデザインコンテスト事業	
概要	<p>①コロナ禍の中で新生活様式の事業の一環として、各家庭でも取り組めるように、郷土の宝である国宝「縄文の女神」を題材としたペーパークラフトデザインコンテストを開催し、住民の縄文文化に関する興味・関心を引き出す。さらに、縄文に関する講座を企画し、縄文時代の生活や文化を学ぶとともに、ペーパークラフト制作の講座も行うことで、子どもから大人まで幅広い年齢層が参加しやすいように支援事業も併せて実施していく。将来的には、デザインコンテストを継続して実施していくことにより、住民に縄文文化を身近に感じる機会を増やし、郷土愛を深めることをねらいとしている。</p> <p>②消耗品費、報償費</p> <p>③1)消耗品110,000円、2)報償費90,000円</p> <p>④町民</p>	
実績	199,911円	<p>①入賞者報償費 90,000円 1位…10,000円分商品券 2位…5,000円分商品券 3位…3,000円分商品券</p> <p>②消耗品費 109,911円 縄文の女神をかたどった台紙</p>
行政評価	集合形式の講座に参加するのではなく、自宅で社会教育事業に参加することができた。また、縄文の女神への愛着と郷土愛の醸成を図ることができた。情報発信にもつながった。	
審議会評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、ステイホーム等自粛生活が余儀なくされ、その中で縄文の女神に対する関心と誇りに思う心の醸成を目的に、手軽に取り組める事業として評価できる。内容の改善・充実など、今後の事業展開に期待する。	

No.31

事業名	縄文の女神の陶製レプリカ製作事業	
概要	<p>①コロナ禍の中で、国宝「縄文の女神」の見学のために博物館へ行きにくい状況が続くことが想定される。子どもたちの郷土愛を育むため、「縄文の女神」に触れる機会を増やし、学べる環境を整備することが求められる。この事業では、「縄文の女神」の陶製レプリカを制作し、日頃から各学校や公共施設等に展示することで、子どもや住民に「縄文の女神」を身近に感じてもらい、「縄文の女神」と縄文文化を大切に、次世代に受け継いでいく心を養うことをねらいとしている。</p> <p>②委託料</p> <p>③1)3Dデータ編集加工2,000,000円、2)製作費2,000,000円×2、3)梱包搬入250,000円、4)展示ケース360,000円、5) 税661,000円</p> <p>④自治体</p>	
実績	R3年度へ繰越	※制作に6ヵ月かかるため。
行政評価		
審議会評価	<p>【R3繰越】</p> <p>必要性と費用対効果に疑問を感じる。レプリカ制作より子どもたちの心を育てて、縄文の女神を誇りに思う人材育成が大事だと思う。</p>	

No.32

事業名	地区公民館感染症対策支援事業	
概要	<p>①町内各地区の社会教育拠点施設である地区公民館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、換気扇、サーキュレーター、網戸、冷房設備、消毒液等を整備することで、安全安心な活動環境を提供する。</p> <p>②補助金</p> <p>③@300,000円×20地区</p> <p>④町内会</p>	
実績	2,942,000円	<p>申請地区 17地区（公民館 内訳）エアコン設置 9地区 トイレ洋式化 1地区 網戸設置 1地区 サーキュレーター購入 4地区 消毒液購入 9地区</p>
行政評価	各町内会において、社会教育や地域づくりの拠点施設である地区公民館に、換気扇やサーキュレーター、冷房設備、消毒液等を整備することで、新型コロナウイルス感染症感染防止対策と安全安心な活動環境を創造することができた。	
審議会 評価	町民が一番身近な交流の場となる地区の公民館における新型コロナ感染症の感染予防対策が図られたことは、住民の安全安心につながると評価できる。	

No.33

事業名	元気にくらしましょう品券事業	
概要	<p>①新型コロナウイルスにより影響を受けている町内事業者を支援するとともに、インフルエンザ予防接種やマスク購入などで増加した家庭負担を支援するため、全町民に対し、町内で使用できる地域商品券を交付する。</p> <p>②報償費、印刷製本費、郵便料、事務手数料</p> <p>③1)商品券5,200人×3,000円、2)印刷費33,000円、3)郵便料710円×1,900世帯、4)事務手数料300,000円、5)時間外手当100,000円</p> <p>④町民</p>	
実績	16,609,901円	<p>①交付人数 5,159人 5,159人×3,000円=15,477,000円</p> <p>②未受取者数 6人</p>
行政評価	コロナの影響により、インフルエンザ予防接種、マスク購入など家計への負担が増加したことに対する支援を行ったことにより、家計負担の軽減が図られた。また、町内商工業者で使用されることにより町内の経済活性化に寄与している。	
審議会 評価	この事業は町民全員が恩恵を受けられる事業である。町内で利用できる商品券を配布したことにより、町内事業者の支援にもつながり経済効果も得られたところが評価できる。	

事業名	舟形町立学校ICT整備事業	
概 要	<p>①学校休校中の家庭学習、リモート授業等を行える環境を目指し、小中学校生に1人1台タブレット貸与を行う。また、通信速度を確保するため学校側及び低所得世帯側のネットワーク環境と関係する周辺機器を整備する。</p> <p>②備品購入費(電子黒板他)、工事請負費(学校ネットワーク環境整備)</p> <p>③1)ネットワーク環境整備 LAN配線、Wi-Fiアクセスポイント小学校25ヵ所、中学校22ヵ所 5,312,000円、2) 周辺機器整備 電子黒板@940,000×5台、タブレット保管庫3,287,000円</p> <p>④町立学校(児童、生徒)</p>	
実 績	25,779,600円	<p>①小中学校の情報通信ネットワーク環境整備</p> <p>②小中学校タブレット端末導入(iPAD、キーボード、タッチペン) …小学校225台、中学校135台</p> <p>③電子黒板…小学校2台、中学校3台</p> <p>④Wi-Fiルーター…15台</p> <p>⑤周辺機器整備…WEBカメラ、AppleTVなど</p>
行政評価	小中学校内のICT環境が整備され、臨時休校等の措置に対応できるリモート授業等を行えるようになった。	
審議会 評 価	<p>早い段階で学校のICT教育の環境が整備され、今後の学習がより一層便利かつ安全に行えるようになったことが評価できる。インターネットやパソコンを使いこなせることなど、子どもたちの強みとなるよう、また、使う上でのモラルやマナーも教育し有効に使われることを期待する。</p>	